

第七回 平成二十一年十二月十九日



インターネットで広がる学びの世界

畑 耕治郎

これまで、一回目から七回目までの講座というのは文学に関するお話が多かったかとは思いますが、今日は一転して、情報系と申しますか、若者向けと申しますか、インターネットって何ぞやというお話をさせていただけますと思います。

限られた時間ですけれども、本日はいろんなものを皆さんに見ていただき、また体験していただきたいと考えております。

本日の講座の目標は、インターネットのおもしろさや魅力を知っていただき、家に帰ってからちよつと挑戦してやろうと皆さんが思っていたければ本日の講座は成功かなと思っております。

まず、御自宅でインターネットを使っている方と、全くインターネットを使つたことがない方では、これからの説明も随分変わってくるので講義に先立ち質問

講座の目標

インターネットを活用した学びについて

- ・知ってもらおう
- ・体感してもらおう

そして、ご自宅に戻られて

- ・挑戦してもらおう

講義の流れ

1. インターネットは知識の宝庫！
2. eラーニングって何？
3. 学び場としてのサードプレイス！

させていただきます。ご自宅や職場などでインターネットを使っていますよという方はどの程度いらつしやいますか、挙手していただけますか。(挙手)

ちようど半分ぐらいですかね、ありがとうございます。

では、全くインターネットを使ったことがないという方はどの程度いらつしやいます。(挙手) 若干名いらつしやいますね。わかりました。

早速、講義に入りたいと思いますが、本日の講義の流れとしましては、まず一番目は、「インターネットは知識の宝庫！」というテーマです。インターネットには、いろいろなサービスや情報がありますが特に「学び」に活用できそうなサービスをいくつか御紹介していきます。二番目は、「eラーニングって何？」というテーマです。頭に「e」が付くラーニングってどんなものだろうか？ということ御紹介いたします。三番目は、「学び場としてのサードプレイス！」というテーマで私の思いなども含めて少しお話させていただきますこうと思っております。

本日はこの三つの大きな流れでお話をしていきたいと思えます。本日は、何かノートに控えていただいで学んでいただくというより、実際に見ていただき、感

1.インターネットは知識の宝庫

- 豊富な情報量
- 即時性
- 情報共有
- 多彩な表現力
- 双方向性
などなど

じていただきたいと思いますので本日、ご紹介するホームページやサービスの一覧はお配りしている資料にすべて記載しております。御自宅でインターネットができるようであればこちらのアドレスを参考に一度チャレンジしていただければ幸いです。どうぞ、よろしくお願いいたします。

では、一番目、「インターネットは知識の宝庫」というテーマで、インターネットの特徴的なところを御説明しながら、その象徴的なサービスを幾つか御紹介したいと思えます。

インターネットつていうのは非常にさまざまなサービス等々がございまして、すごく便利だよという、いわゆるインターネットの光の部分と、有害サイトや信頼性の乏しいサイトなどに見られるインターネットの影の部分が共存していきまして、よく言えばいくらでもよく言えるし、悪く言おうと思つたらいくらでも悪く言えるというのがインターネットです。本日は、スライドにあげたようなインターネットの特徴を生かし、かつ「学び」に活用できそうなサービスをピックアップしました。

それぞれの特徴を簡単に説明しておきますとまず、「豊富な情報量」ということですが、インターネットには世界中のパソコンや情報端末が繋がっています。パソコンが繋がっているということは、実質的に人が繋がっているというこ

とです。現在、世界のインターネット利用者数は約十七億人といわれ、世界の人口の約五人に一人が利用している計算になります。このように多くの人々を対象に発信される情報、また多くの人々から寄せられる情報量はこれまでのメディアに比べ圧倒的な多さになります。

次の「即時性」というのは、後ほど具体的に説明しますが、情報の伝達スピードがこれまでのメディアと比べて物すごく早いということです。「情報共有」というのは、文字どおりですけども、自分が有している知識を他の人達にも分け与える、あるいは、他人が持っている知識を自分にも教えてねっというやり取りをインターネット上でうまく活用しましょうということ。『多彩な表現力』というのは、コンピュータの世界ですから、非常にグラフィカルに表現してくれるということです。本の活字を見るよりはアニメーションで見たり、映像で見たりする方がすごく理解しやすい情報もたくさんありますね。最後の「双方向性」というのは、テレビやラジオ、新聞のように放送局や出版社から一方的に情報が届けられるのではなく、こちらからも情報を要求したり、提供したりできるようなサービスのことです。こちらについては、後ほど体験していただきますがインターネットを使って遠方にいる人とリアルタイムに会話をしてみようと思います。

では、どんどん紹介していこうと思いますが、まず豊富な情報量の象徴するようなサービスとして、「ウ

豊富な情報量 (1)

ウィキペディア (Wikipedia)

- ・世界中の人々で作る百科事典
- ・日本語版の掲載数 約640,000記事
- ・利用無料

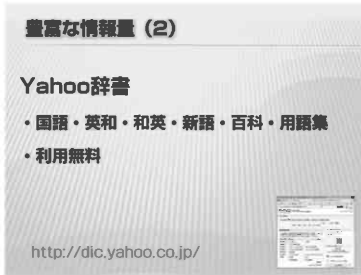
<http://ja.wikipedia.org/>



「ウィキペディア」を紹介します。

ウィキペディアというのは、インターネット上に展開する百科事典のことです。

この百科事典は、どこかの専門家が集まって製作したわけでも、専門の企業の方が製作したわけでもありません。じゃあ誰が製作したかという点、ネットに参加している世界中の人たちが自分の持っている知識を集結して作っています。つまり、世界中の人々が一つの百科事典をいっしょに作り上げていることですね。いろいろなキーワードごととに一つのページが作られています。その情報量というのは物すごいものなんです。ウィキペディアには、日本語版とか英語版とかがありまして、英語版は世界共通で使われていますので登録情報件数は約三百八万件に及びます。一方、日本語版は残念ながら日本人しか見ませんので主に日本人の方が自由に書き込んで事典をつくり上げていくことをやっています。日本語版だけでも既に約六十四万件のデータ量があるそうです。私が子供のころにはジャポニカ百科事典一卷から三十巻とか、昔そういう分厚い事典をよく見かけましたけど、そういった紙媒体のものがすべてネット上にあると考えると考えてください。しかも、膨大な情報の中から呼び出したキーワードをもとに検索をすれば、すぐにほしい情報を見つけることができるのです。ごく便利なものになっています。当然、無料で活用できます。




では、ちょっと、ウィキペディアを実際に立ち上げてみましょう。これがウィキペディアのホームページですね、例えば、この検索欄というところに「環境問題」と入れて「記事を表示」のボタンをクリックしますと、瞬時に「環境問題」というページが表示しまして、環境問題に関する写真や解説がこのようにならずらと出てきます。非常に多くの解説がされていますね。この記事を書いている人というのが、先ほど私が申しました特定の専門家や企業の人を書いてはいるわけではなく、ネットに参加してるみなさんが書いているわけですね。従って、ここに書かれている記事の内容が一〇〇%正しいかどうかというのはまた別問題ですね。そういう意味では、ウィキペディアっていうのはこの情報量の多さが魅力で、とりわけ何か知らない言葉が出てきたときに、ぱっと検索するには非常におもしろい百科事典だと思います。余談ですが、いとも簡単に何十万件の中からすばやくほしい情報が検索できるので非常に便利ですけども、大学の教員としましては困ったこともあって、じやあ環境問題について明日までにレポートを出しましょう。と宿題を出しますとウィキペディアの文章がそのままずらずらと書かれたレポートもよく見かけます。こういうのを「コピー」「ペースト」を略してコピーって言っているのですが、要するに、ここにある記事をコピーしてこっちの課題のレポートに張りつけて、ぴよんと出してくるわけです。これはこれでまた大きな問題になっているのです。

豊富な情報量 (3)

Googleマップ

- ・世界地図
- ・航空写真
- ・ストーリービュー
- ・利用無料

<http://maps.google.co.jp/>



けど・・・。ウィキペディアって言うのは、それぐらい当たり前のように学生の皆さんには利用されているサービスと言えるでしょう。

似たようなサービスでヤフー辞書というのがあります。こちらも辞典や辞書として、漢和辞典、英和辞典などたくさん種類の辞典・辞書がデジタル化されています。こちらは専門家や専門の企業から出版されている辞書の電子版ですので内容について信頼性には全く問題がありません。最近では携帯電話からも簡単に利用できますので分厚い本を抱えなくてもネットで調べれば一瞬で辞書を引くことができわるわけです。

次に紹介する「Googleマップ（グーグルマップ）」も非常におもしろいサービスです。今、世界で最も注目されているIT企業といっても過言ではないと思いますがグーグルという会社があります。この会社では、新しいさまざまなインターネットサービスを次から次へと考案し、提供している会社です。このグーグルマップというサービスは、いわゆる地図サービスです。通常の地図と同じように道を調べたり、建物の場所を調べたりすることができます。いくつか特徴

をあげるとまず地図の範囲が世界規模だということ。世界全域を対象とした地図ですが検索は一瞬で行えるのがネットサービスの良いところです。また、航空写真と言いましてこれは説明するより見ていただいた方がいいですけども、空から地上を撮った写真がすぐに見られるということで、リアルな風景を見ることができます。

例えば、この検索欄に「大手前大学」と入れて、検索ボタンをクリックします。そうしますと、大手前大学に関連した場所にマークが付きまます。本学はキャンパスが二つございますので二か所にマークが付きまましたね。このマークの付近をどんどんこのように拡大していきますとキャンパスが見えてきまして、ちようど皆さんがいらつしやるのがこの建物です。このように航空写真で見ますと町の様子が非常によくわかります。気になるところを見だすときりがないのですが本当におもしろいので是非、御自宅に戻られましたら、御自分のお家を探してみてください。もちろん、世界規模の地図なので、エジプト付近に行つたらピラミッドの様子も見られますし、ニューヨークに行けば自由の女神の様子も見られますよ。世界中丸見えということですね。

Google マップのもう一つの面白さは、ストーリービューというサービスです。ストーリービューとは、上空から見た様子だけでなく、地図のその周り三六〇度の様子がこいう写真で全部見えるサービスです。実際にやってみましよう。ここに本学のアートセンターという建物がありますが、このようにマ

豊富な情報量 (4)

Google Earth

- ・地球儀 (火星、月もあり)
- ・専用ソフトウェアを使用
- ・利用無料 (有料版もあり)

<http://earth.google.com/intl/ja/>

ウスを動かすだけでアートセンターの周辺の建物まではつきりと写真で見えるわけです。これが今、皆さんがいる教室ですね。ここがJRの踏み切りですね。さらにキーボードを動かしていきますとどんどんこの周辺の写真が見えてくるというように地図の中を歩いているような感じがしてきますよね。ストーリービューという地図はこういう地図なんです。こういう角度からの写真を用いた地図ってこれまでになくて、従来型の記号だらけの地図じゃなくて、本当の写真を用いることで得られる情報が場所だけでなく、建物の色や大きさの情報、町の様子なども併せて得られるところが付加価値として新しいですよ。初めて訪問したり、旅行したりするところって様子がわからないのもですがこれを使うと現地に行く前にいろいろと分かるので便利な一方、リアルな情報が入りすぎて楽しみが減るような感じもしますね。この地図はパソコンでプリントアウトできますので持ち歩くときには、印刷しておくといいですね。

次に紹介するのは、こちらもGoogle社が提供しているサービスで「Google Earth (グーグルアース)」という地球儀型の地図サービスです。こちらインターネットを使うんですが専用のソフトウェアをGoogle社のホームページからダウンロードする必要があります。では、実際にGoogle

アースを見てみましょう。例えば、〃大手前大学〃と入力し、検索してみますとこのように地球上の中から大手前大学の場所を探してくれます。こちらにあらかじめ地球上の著名な観光地が登録されていますのでこちらを利用してみましょう。例えば、〃紫禁城〃をクリックすると中国の紫禁城までこのように勝手に飛んで行って、中国の紫禁城の写真を見せてくれます。〃エッフェル塔〃をクリックしますとこのようにエッフェル塔まで飛んで行ってくれるんです。これがエッフェル塔ですね。こうやってパリを上空から見ると京都の町が碁盤の目になっていると言いますが、パリはこういうふう星型のきれいな街だつていうこともすぐわかりますよね、後、エジプトにビューッと飛んで行きまして、ピラミッドやスフィンクスに行きましよう。これがエジプトのスフィンクスですね。こちらがピラミッドですね。

このように、世界中を丸ごとリアルな写真で作った地球儀がGoogle Earthです。Google Earthは3Dの技術を駆使して、建物を立体的に地図上で表現することができます。また、Google Earthのさらに面白いところは、地球だけでなく、月や火星までも地球儀のように表面を見られるところです。月や火星はどこを見てもし一緒のようにしか見えませんが・・。我々が子供のときに見ていた地球儀とはもう比べものにならない、非常に豊富な情報量で多彩な表現を実現していますね。これが、Google Earthというサービスです。是非一度、これを期にお使いください。一点気をつけていただきたい



のは、Google Earthには幾つかバージョンがありまして、お金のかかるものもありますのでお使いの際には無料版というのを使ってください。

では、次のサービスを見てみましょう。次は「即時性」ということで、新聞やテレビなどのメディアより即時性の高いネットニュースを紹介します。例えば、新聞というのは、一般的に朝と夕方に情報が届けられるものですけれども、ネットニュースというのは分単位で情報が提供されます。何か事件が起こったらすぐにネットに掲載されるわけで、新聞やテレビのニュースよりも先にネットで情報を入力することのほうが多くなってきました。ですから今の若い人たちは、あまり新聞を取っていないようですね。

また、新聞というのはどうしても誌面の大きさが決まっているので、掲載できる情報量が決まっていますね。それに対してインターネットの世界は情報が限りなく無限に表現できるので、一つ一つの記事も詳細に解説したり、写真を多めに添付したりすることができるというメリットもネットニュースにはあります。

これはちよつと皆さんには、難しいところがあるかも知れませんが今、最先端のコミュニケーション

新聞・テレビより即時性の高いネットNEWS

Twitter (ツイッター)

- ・注目度No.1のコミュニケーションツール
- ・140文字以内のショートメッセージ
- ・つぶやき
- ・利用無料

<http://twitter.com/>



ツールです。ツイッターと言って今世界中で一番旬なコミュニケーションツールです。お子さまとかお孫さんに「ツイッター知ってるよ」と言って自慢できるぐらい旬なものです。

では、ツイッターがどのようなものかと申しますと、いわゆるショートメッセージなんですね、日本では「つぶやき」なんて言われていますが、携帯電話などを使って、日常の出来事を文字でつぶやくわけです。ああ、暇だなあとか、この講義つまらんなあとか、おなか減ったなあとか。非常に短い言葉で今の自分をつぶやくわけです。つぶやいた文字は瞬時にインターネットを駆けわたり、友達とかに伝達されます。ブログやホームページはリアルタイム性に欠けますが、ツイッターはリアルタイムに情報が伝達されますので情報の伝達をものすごく速めたツールと言えますね。ツイッターはオバマ大統領も使っているということで注目を浴びた物ですけども、日本でも選挙のときに使われたとか、使われていないとか物議がありました。ツイッターも無料のサービスです。私自身もまだまだ、ツイッターの世界に入り込めていませんが言葉ぐらいいは知っているとちょっと自慢できるかなと思います。

次に「オーケーWEB」とか「はてな」とか「ヤフー知恵袋」を挙げました。これは、Q & Aサイトと

情報の共有

YouTube

- ・動画投稿サイト
- ・世界中からさまざまなジャンルの映像が投稿
- ・“大学”、“講義”で検索

<http://youtube.com/>



情報の共有

OKWave

<http://okwave.jp/>

・Q&Aサイト

・はてな（一部有料）

はてな

<http://www.hatena.ne.jp/>

Yahoo智恵袋

<http://chiebukuro.yahoo.co.jp/>



呼ばれるもので、例えば、私が風邪を引いていて、風邪によく効く薬を知らないですかとホームページで質問すると、いろんな人がこの薬は効いたよとか、この薬は効かなかったよとか、この病院はよかったよとか、回答してくれるサービスです。こういうQ&Aサイトも非常に人気があり、日常生活のことから学術的なことまで質問の内容は幅広いようです。一部、お金がかかるサービスもあるようですがほとんど無料でやっています。昔は何て言うでしょう、おばあちゃんのお恵つて言うのがいろいろと生活に役立つみたいな話もありましたけど、今やこういうネットで問いかければ、それを知っている人がちゃんと答えてくれるというギブアンドテイクのサービスというのにも既に確立しています。

最後にこれも非常に旬なサービスですが「ユーチューブ」という動画投稿サービスです。これは、世界中から自分で撮影した映像が投稿されましてお互いに見せ合いつこでできるサービスです。なかには、いかがわしい映像もあるのですが例えば、〃大学〃とか〃講義〃で検索すると大学で行われている公開講座などが検索されてきます。ちょっと、やってみましょうか、例えば、〃京都大学講義〃で

Eラーニング

eラーニングとは、
ICT技術を用いて行う学習のこと
*ICT: Information and Communication Technology

検索しますとこのようにいろいろと講義のビデオが検索されるわけです。例えば、この講義を見ようと思えばここをクリックするとこんな感じで京都大学で公開されてる授業が御自宅で見る事ができるわけです。ユーチューブには、本当にさまざまな映像が投稿されているので一度、見てみてはいかがでしょうか。

ざっと、いろいろなサービスを見ていただきましたけども、最後に見たユーチューブは今、私が話している様子をビデオで撮影し、ユーチューブに投稿すれば、本日、来られなかった人でも見ることができすし、あるいは夙川に來られない遠方の人に提供するような使い方もできます。このようにコンピュータやインターネットを活用した学習のことを「eラーニング」と呼んでいます。

本日はこのeラーニングを皆さんに体験していただきたいと思っています。eラーニングの概念は非常に幅広く、実際にはさまざまな形態があります。本学でも、eラーニング授業という授業形態がありまして、教科目を用意しています。現在、のべ約千四百名の学生さんがeラーニングで学習を行っています。今年は夏ぐらいにインフルエンザで学校が休みになった時期がありましたけども、eラーニングの授業は休むことなく続いていました。要するに、学生は自宅のパソコンを使って学習できるので休講することなく学習することができたわけです。



eラーニングには、多彩なデジタル教材が用いられるわけですが、先ほどユーザーチューブで見ていただいたように先生がお話されている映像を閲覧して学習するものとか、アニメーションやスライドを使って学習するようなものもあります。また、○×のクイズでスキルを確認したりするのもeラーニングの代表的なものです。このようなデジタル教材を用いて学習を提供しているサービスはたくさんあります。例えば、日経ビジネススクールではいろいろな講座が用意されています。もちろん、受講料は必要になりますが東京に行かなくても著名な先生の話をお聞きできたり、梅田に出なくても自宅で学習できるので便利です。また、こちらは最近できたサービスですが「Nアカデミー」という非常におもしろいネットスクーリングのサイトです。この講師の方はよくテレビで見ますよね、ミスターマリックさんという有名な手品師ですね。マリックさんの講座は、もちろんマジックを教えてくださいれるそうです。自宅にいながら、マリックさんにマジックを教えてもらえると宴会の時などに役立ちそうですね。このスクールでは、非常に有名な方々が講師をされているのが特徴です。

本日は、本学で行っているeラーニング授業の中から「大手前学入門」という授業をちょっと体験していただくかと思っています。本来は、全五回ですべての授業を受けますと五時間ぐらいかかってしまう

eラーニング

eラーニングの良いところ

- ・好きな場所で学べる
- ・好きな時間に学べる
- ・多彩なデジタル教材で学べる
などなど

ので本日は途中からですけど、第二回の一部だけを見ていただこうと思います。(視聴)

このように、デジタル教材を閲覧しながら、メモを取ったりして学習するというのがeラーニングの一番典型的なタイプです。次に見ていただくのが本学のeラーニング授業のなかで最も受講生に人気のある「色彩学」という色について勉強する講座について見てもらおうと思います。これはまたちよつと趣向が違っていきます。(視聴・実演)

この教材の特徴は、単に先生の話を聞くだけではなく、実際にマウスを使って洋服の着せ替えを試みたり、色と色の組み合わせを行ってその違いを感じたりすることができる体感型の教材となっています。

eラーニングの良いところというのは、場所にとらわれることなくパソコンがあれば学習できるという点、また、自分の好きなときに閲覧できる、例えば、NHKなどの教養番組とかと違って放映時間が決まっているわけではないのでいつでも、自分が見たいときにデジタル教材にアクセスすれば講義が始まるわけです。さらに、先ほど見ていただきましたけど、アニメーションや映像を用いて非常に多彩な表現をされているので、わかりやすく学習を進めることができます。このことはデジタル教材の最大の特徴であると思います。本学では、このeラーニン

ライブ型eラーニング

例えば、遠く離れた先生と受講者のそれぞれのパソコンにカメラとマイクをつけて、お互いの顔を見ながら、直接、学習を行う。



グを積極的に活用して、よりよい学習ができるように努めております。

さて、本日はもう一つのタイプのeラーニングを体験して頂こうと思います。もう一つのタイプとは、ライブ型eラーニングのことで本日の目玉でもあります。ライブ型とは、遠方の方とテレビ電話などを使ってリアルタイムに学習をするタイプの授業です。例えば、今、東京で行っている授業を大阪の自宅で閲覧したり、先生に質問したりするような授業です。本日はこれから韓国の大学とつながります。実際に韓国とテレビ電話をつないでちょっととしたプチ韓国語講座を皆さんに体験

していただくかと思っております。スライドにちょっと事例が載っていましたね。このように、双方のパソコンにこんな小さなカメラとマイクをつけます。このカメラを通じて韓国にいる学生さんとちょっと会話をしてみたいなと思います。多分待機してくれているはずなんですけど、ちょっと、待ってくださいね。では、韓国とつないでみましょう。

(テレビ電話)

○畑耕治郎講師

もしもし、アンニョンハセヨ。

○パクさん

アンニョンハセヨ、先生こんにちは、

○畑耕治郎講師

こんにちは、パクさんよろしくお願ひします。パクさんちょっとカメラをパブリッシ

ユしてもらっていいですか。キムさんこんにちは、

○パクさん

カメラですか。

○畑耕治郎講師

カメラで、パブリッシュボタンを押してもらっていいですか、大きな画面にってもらっていいですか。はい、写りました。じゃあこちらに今日はイケメンがいっぱいいますので、こちらの映像を送ります。

○パクさん

はい。

○畑耕治郎講師

お好みの人がいたらカメラ止めますからストップと言っていたでもいいですよ。彼女は日本語がとても上手ですけど、決して隣の部屋にいるわけじゃありません、本当に韓国の釜山というところにある釜山情報大学にいるんですよ。

○畑耕治郎講師

聞こえますか。

○パクさん

はい、聞こえます。

○畑耕治郎講師

ちよつとタイムラグありますけども、ほとんどリアルタイムに話できていますよね。じゃあ、パクさん、ちよつと釜山の様子とかそちらの大学を紹介していただいていいですか。

○パクさん

はい、わかりました。本日はすごく寒いですね、後、風が冷たくて、みんな風邪引か

ないようにしてください。釜山も日本と同じに、日本は今冬休みのところですか。

○畑耕治郎講師

まだ、冬休みではないよ。もう少しですね。

○パクさん

こちらはもう冬休みになって学生はもう学校にはいないんです。

○畑耕治郎講師

パクさんは、現在、釜山情報大学の職員さんですね。

○パクさん

はい、そうです。

○畑耕治郎講師

つい最近まで学生でしたが最近働き出したんですね。

○パクさん

こちらのキムさんはまだ学生です。

○畑耕治郎講師

そうですか、はい。はじめましてキムさん。

○キムさん

はじめまして。

○畑耕治郎講師

皆さん非常に日本語が達者ですけども、日本人じゃないですよ。本当に韓国の方です。

じゃあ、ちよつとパクさんこちらの映像映します。

○パクさん

はい、わかりました。

○畑耕治郎講師

今、映しましたので、皆さんの映像が向こうに大きく表示されていると思います。今

日は三十名ぐらいの方が来られています。

○パクさん

皆さん、こんにちは。

○畑耕治郎講師

若干、年齢層高く見えますけども、カメラのせいですかね。

○パクさん

そうですか（笑）。

○畑耕治郎講師

非常に良好に聞こえていますよ。

では、せっかくなので韓国語をちょっと教えてもらおうかなと思います。

○キムさん

はい、わかりました。

○畑耕治郎講師

実は今日は何を教えてもらおうかなと思って、季節から、クリスマスなので、

クリスマス、を皆さんで覚えようかなと思っただんですけど、よく考えたら、

クリスマスは韓国も、メリークリスマスなんですよね。なので、本日は、

あけましておめでとうございます、をキムさんに教えていただこうと思います。

キムさんちよつとこの、あけましておめでとうございます、を韓国語でどのように話すのか解

説していただいていますか。

○キムさん

はい、わかりました。あけましておめでとうございますは、韓国語でセハボンマニ

バトウセヨです。

○畑耕治郎講師

難しいですね、もう一回ゆっくり言うってもらっていいですか。

○キムさん

もう一回、セハボンマニバトウセヨ。

○畑耕治郎講師

じゃあ、もう一度皆さんでいきましょうか。セヘボン マニバトウセヨ。

○キムさん

発音いいですね先生。

○畑耕治郎講師

どうもありがとうございます。ちよつと、パクサンとキムさん待ってね。

○パクさん

はい。

○畑耕治郎講師

今ちよつと教室の環境で音がうるさいですね。はい、ちよつと待っててくださいね。も

しもし、韓国ではクリスマスはどんな感じで過ごしますか。

○パクさん

釜山はあまり雪が降らないので、恋人と過ごすとか友達と過ごします。食事をしたり、

お酒を飲んだりします。

○畑耕治郎講師

そうですね、楽しそうですね。今、パクさんお仕事ですよね。

○パクさん

そうですね。

○畑耕治郎講師

ごめんなさいね、忙しいときに邪魔して。

○パクさん

いえ、いい経験です。

○畑耕治郎講師

じゃあ、授業に戻りますのでどうもありがとうございます。

○パクさん

ありがとうございます。じゃあ、皆さんさようなら。

○畑耕治郎講師

はい、ありがとう。

ライブ型エラーニング

ご購入したカメラを用いたコミュニケーションの方法をビデオチャットなどと呼びます。

ビデオチャットで最も有名なサービスが「skype」です。「skype」はインターネットから無料でダウンロードすることができ、世界中のskypeユーザーとテレビ電話を繋ぐことができます。Skypeユーザー同士の会話は世界中、何分話しても無料です。



「Skype」
<http://www.skype.com/intl/ja/>

ほんの短いプチ韓国語講座でしたけれども、こういったライブ型の授業もインターネットを活用した学習としては非常に効果的といわれています。今回は学習というテーマなのでプチ講座ということでもやりましたけれども、例えば遠くにいるお孫さんだとか御家族とか友人とかとこういうビデオチャットというのを使ってコミュニケーションを取るなんていうことも今は簡単に行うことができます。こういったビデオチャットのサービスはたいいてい、無料のサービスを使っています。今、韓国とつないで会話しただけでも、携帯電話を使って会話しると当然通話料がかかりますけど、インターネットで通話する分には実はお金がかからないんですね。もともとインターネットに接続するための費用は別に払っていますので、二十四時間ずつとつながり放しで会話しなくても通話料はかからないのでいいですよ。ですから、学習だけではなくて、ご家族とか友人とのコミュニケーションにも使えるので是非、チャレンジしていただければと思います。ちなみにこの小さなカメラは電気屋さんで二千円とか三千円ぐらいで売っています。また、一番有名なサービスは「スカイプ」という会社のサービスです。

我々としては、こうした新しいテクノロジーを学習に効果的に活用しようということをや日々勉強したり

eラーニング

eラーニングの良いところ

- ・好きな場所で学べる
- ・好きな時間に学べる
- ・多彩なデジタル教材で学べる
- ・インタラクティブな環境で学べる
- ・他の受講者と「学び」を共有できる

学習を楽しくする多彩なコミュニケーションツール



- ・掲示板 (左図)
- ・メール
- ・チャット
- ・SNS
- ・ブログ
- ・Twitter

研究したりしています。ご覧頂いたように先生の話の聞くようなデジタル教材があつたり、韓国とリアルタイムにインターネットを使って会話をしたりする学習もありすけども、その他にもいろんなコミュニケーションツールというのがインターネットにはありまして、学習を支援してくれるものとして活用しています。例えば、掲示板と呼ばれるものでこういう記事を書いてお互いの意見交換をするとか、あるいは電子メールと呼ばれるものであるとか、その他にSNSやブログ、先ほど説明したツイッターなどコミュニケーションするツールというものがいっぱいありますのでこういったサービスを活用して多くの仲間と励ましあつたり、情報を交換したりしながら楽しく学習することができると考えています。

先ほどeラーニングの良いところを幾つか挙げましたがさらに今の韓国とのやりとりを見ていただいておりますように、一つはインタラクティブな環境で学べるということ、インタラクティブというのは、こういう双方向のやりとりがある環境ですね、単に家でテレビ番組を黙って見ているだけとか、本買ってきて読んでいただけというのではなく、相手がいて相互にやり取りをしながら学習でき

学び場としてのサードプレイス

スターバックスの提唱するサードプレイス

家庭や職場からはなれ、家族や恋人、友人と語り合ったり、時には一人で夢を膨らませたり、感情的な気分に戻ったり。そんな場所があると素敵ですよね。私たちは家庭と職場や学校の間に、日陰を忘れてくつろげる第3の場所「サードプレイス」をみんなに提供することを目指しています。(スターバックスHPより)

出典 <http://starbucks2008.sgap.jp/?w=23>

る環境のことですけれど、こういったものも実はeラーニングの良いところかなと思います。もう一つは、これをeラーニングの良いところと言うと何か誤解を受けやすいんですけども、他の受講者と学びを共有することができるといことです。例えば、もしかしたら今日お隣に座っている方と一言も会話せずにこのまま御自宅に戻られてしまう方もいますよね。だから、こういう集合型で一同に介して授業をしているからと言って必ずしも多くの人と会話して帰るわけじゃないという講座もたくさんあります。授業の進め方にもよりますが。その点、eラーニングというのは、非常に多彩なコミュニケーションツールがあるので結構書きやすい、意見が述べやすいという利点もあるようです。これまでeラーニングの良いところばかりを挙げてきましたがeラーニングは非常に刺激のある学習ツールであるというふうに私は考えています。

早いものでもう残り三十分ぐらいですけども、三番目のテーマとしまして「学び場としてのサードプレイス」というお話をさせていただきたいと思えます。

このサードプレイスというのは何かというお話ですけども、サードプレイスというのは、アメリカの社会学者のオルデンバークという人が一九八九年に発表した新しい都市の居場所のことで、まだインターネットとか全然ない時代ですね。

この方はどういうふうに言ったかと言うと、ファーストプレイスというのは、一番の居場所である家でしょう。二番目のセカンドプレイスというのは、職場であつたり、学生であれば学校でしょうと言いました。これから時代はファーストプレイスでもなく、セカンドプレイスでもないサードプレイスという新たな居場所も我々には必要ではないでしょうかということ提唱したわけですね。サードプレイスの定義というのは、いろいろとあるようですが、人々が気軽に集うことができる場所ということで一応サードプレイスという物を定義している人が多いです。

では、人々が気軽に集うことができる場所を何とか我々大学人としましては、そこを学びの楽しい場所に持っていけないかなということを考えているわけですね。一九八九年ですから約二十年前に提唱されたことが最近、またちよつと注目されています。サードプレイスというキーワードで検索していただくといろんな解説が見つかると思います。

ここでサードプレイスで成功した事例があるので紹介します。サードプレイスという概念で成功した会社としてスターバックスという会社があります。スターバックスは御存じですかね、通称、スタバっていうカフェですね。梅田とか行くとスターバックスという喫茶店の大きなやつですかね、マクドナルドの喫茶店版というのでしょうかね、ここが実は数年前にサードプレイスという概念に基づいているんな試みをしたそうです。これはスターバックスのホームページに書いてあつたものを抜粋したのですが、ちよつ

と読んでみませう。

「家庭や職場から離れ、家族や恋人友人と語りあつたりときには、一人で夢を膨らませたり感傷的な気分浸つたりと、そんな場所があるとすてきですよ。私たちは家庭と職場や学校の間ある日常を忘れ、くつろげるような第三の場所、サードプレイスを人々に提供することを目指しています。」

これがスターボックスのホームページに書かれていた文章ですけども、要するに、一言で言うと、つまり場にして下さいねと、我々のお店をつまり場にして、何かあつたらうちの場所を提供しますからここでみんな語り合つてよというようなスタンスで我々はお客さんを待っていますよということ。ちょっとビジネス的じゃなく、開放しますよ、自由に使ってくださいというスタンスでスターボックスというのは、いろんな試みをしたんですね、これが成功の直接の要因かどうかはわかりませんが、急速に日本スターボックスというのがブームになって、今や全国に多くの店舗を展開しています。

我々というか、私としては、こういうサードプレイスの考え方を何とか学びにつなげて、みんなが気軽に集まってきたり、気軽に文学についてお話ししたり、今日みたいにインターネットについて学んだりできる空間を大学として提供していきたいなあと考えているわけです。実際にいろんな人たちが学びのサードプレイスについて研究したり挑戦したりしているようですが、まだ大きな成功事例はなく試行錯誤が

学び場としてのサードプレイス

ネットに広がる学びの場

- ・京都カラスマ大学
- ・シブヤ大学
- ・大ナゴヤ大学
などなど



行われている段階かなと思いますが、その中で私がちよつとお気に入りのところを御紹介します。

ネットに広がる学びの場ということで、まさに本日のテーマですけども、ここに、京都烏丸大学とか渋谷大学とありますが京都烏丸大学って聞いたことないよなと思われれると思いますが、これはいわゆるバーチャルな大学です。つまり、大手前大学のような文部科学省に認められた本当の大学ではなくて、インターネット上につくられた仮想のキャンパスというか、バーチャルな大学ですね。渋谷大学って言うのは東京を中心に、名古屋大学っていうのは名古屋を中心に、京都烏丸大学っていうのは京都を中心に活動しているようです。確か、何とか札幌大学というのもあるようです。この仮想大学ってじゃあどんなことをやるのかということですがこちらのホームページで紹介してみたいと思います。

こちらが、京都烏丸大学のホームページです。一番上にちよつと書いてありますよね、小さいですけど、京都烏丸大学には校舎がありません。この町が丸ごとキャンパスです。ということで、京都に住んでいる方々が互いに集まって一緒にいろんな勉強をしましょうよというコンセプトなんです。ですから実際に本学のように教室とかを持っているわけではなく、大学というものがあるわけでもないんですね。ただ、こういうネット上に烏丸大学という集まる場所をつくって、ここを起点にしていろいろな学習だとか集ま

りをしましよというバーチャルな大学です。私も個人的に会員です、といますか登録すればだれでも無料で会員になれるようで実際には一度も参加したことがないんです。私がおもしろいなと思うのは、一つは教える先生ですよね、今日は私が先生として立っていますけども、この京都烏丸大学では教える先生は自分で立候補できるんです。私はこんなことについて専門家だから教えたいっていうふうに大学に申請して許可されるとその人は今日から先生なんです。その先生が講座をつくって、募集をかけてそれを学びたいという人はまた自由に入ってこられるというふうにとても自由でフレキシブルなカリキュラムなんです。教えたい人がいる、学びたい人がいる、それを結びましようというのがこのコンセプトなんです。ですから、講師の一覧を見ると今、五十九人いるようですがこの先生は京都大学の先生ですけども、船大工さんとか住職さんとかデザイナーだとか占い師さんとか録音技師さんとか多様な人が先生になっています。パティシエといてケーキを作る職人さんであるとか、これ何かおもしろいですよね、豊島のおじいちゃんおばあちゃん、あるいは、元議会委員さんとか、園芸家とか写真家とか歴史研究家とかいろんな人たちが先生になっていますよね。当然、講座も多様な内容で展開されています。ちよつと読みますけど、太陽観測と宇宙天気予報ということで、東山天文台に行つてみんなで天文学について学びませんかという講座がありますね。こちらは満員御礼になっていますから皆さん集まったのでしょね。ここの講座というのは、こういった感じで九十分授業を受けるというスタイルのものよりも、京都の神社や地域に行

って、そこに集まってるいろいろ一緒に回りましょねというフィールド学習というか、課外授業が中心のようです。もちろん、こういった公開講座みたいに人が集まってお話を聞くということもあるようです。

興味のある者同士で集まって一緒に学ぶ、インフォーマルな学習形態。僕はこういった試みというのは今後もっと増えてくるのではないかなと思います。できれば私も参加したいなあと思いつつ必ず土曜日なんですね、基本的に社会人を対象としているようなので仕方ないですね。

これらの試みでは、本当の大学ではできそうにないことを非常にうまく実施しているなと思います。これは決してeラーニングではないんですね。ネットで学習をするとかではなくて、やっぱりリアルに人と人が会って学習する。ただ、人の集まりを束ねるところだけをネット上につくっているということですが、これはこれですごくおもしろい試みだなというふうに私は思っていますのでちよつと紹介させていただきます。もし、興味あるようであればこの京都烏丸大学のアドレスも配布資料に記載していますので検索していただければなあと思います。できれば私も兵庫××大学とか立ち上げられたらいいなと思っています。

サードプレイスって言うところと難しそうですけど、要するに気軽に語り合えて、人が集まってそこから学びが始まる、芽生えるという場がネットに限らず、いろいろな場所や空間にできてくるのではないのでしょうか。大学は基本的にセカンドプレイスとされているわけですが、これからの大学は二番目の場所



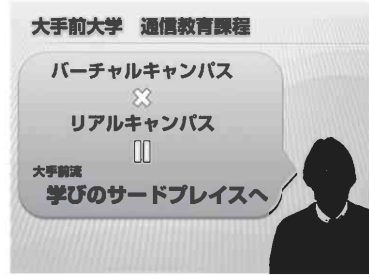
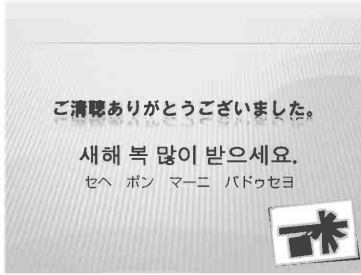
もしつかりと提供するが三番目の場所としても機能も果たす必要があるのでないかと個人的には思っています。もしかしたら今後はこういう三番目の場所こそが、本日のような社会人講座を受講する人たちの学びの場じやないかなあと思っています。

かなり、大詰めに来ていますがどうして八回目まで文学系の講座が続いてきて、急に私が登場したかといいますがとこれを宣伝しろということでも分私が担当することになったのではないかと思いますので、最後に宣伝をさせていただいて、終わろうと思います。大手前大学はこれまでは通学制と言いましてこちらのキャンパスに来てみんな学習するというスタンスで約四千名近く学生が毎日こちらに来て学習しています。そこに加えまして来年の四月から通信教育課程を設置します。これは京都烏丸大学と違って、正式に文部科学省にこの秋に認可を得まして、正式な大学として来年開校いたします。もう一度大学に入ってみたいという方には、卒業すればちゃんと大学の卒業資格をもらえる正規の大学です。また、今回皆さんに来ていただいたように好きな科目だけ取ることもできます。科目数としましては、百六十八科目あります。この百六十八科目の中から好きな科目だけを学習することもできますし、もう一度大学生として頑張つてやろうという人は入学していた

だいて、学習することもできます。

この通信教育課程で百六十八科目というのは他大学に比べて豊富な学習内容になってまして、私も来年から三科目コンピュータ関係の授業を担当することになっておりますので、これを縁にぜひ履修していただくと思います。

本学の通信教育の特徴ですけども、一つはこれまでいろいろご紹介しましたeラーニングを積極的に活用していることです。また自宅で学習するだけじゃなくて、本日のようにこのキャンパスに来ていただいて学ぶ学習方法も多数用意しております。本日の講義概要にも「学び」を継続するのは難しいですよねと書かせていただいたと思います。私は英語が苦手なもので、何とか英語を学習したいなあと思っています、本屋さんへ行つて三分で話せる英語とか見つけるとすぐを買ってしまうのですが、それだけでは学習が続かないんですよ。eラーニングというのもコンピュータの前ですつと座っているというのはなかなかしんどいもので継続が難しいと言われています。そのような状況の中で本学の学生さんに提供しているeラーニングでは、約九割近い学生さんがちゃんと最後まで学習を行い修了しています。というのは、本学が培ってきた通学制での教育方法であるとか、eラーニングのノウハウがデジタル教材には詰まっています、飽きがこず学習しつづけられるような工夫がたくさんちりばめられています。また、本学が特に力を入れていることの一つに学習支援があります。TAとかSA、メンターとか言いますがこういった先生以



外にも学習支援を行う専門のスタッフを充実させておりますので途中で挫折することなく学習できるわけです。ここに関しては他校に負けないぐらい充実させたとい力を入れているところでございます。ですから、パソコンが苦手な方に対しても十分な支援をさせていただきますので安心してご参加ください。

最後になりますけども、前半はインターネットの楽しさについて、いくつかのサービスをご紹介させていただきました。最後の方では、私の日頃考えていることをお話させていただきましたが、最新の技術を使った学習もあれば、こうやって対面で集まって直接会話をしながらお話しする、こういうリアルのキャンパスです。ね、こういったものが今後は融合して、その融合した中から大手前流の学びのサードプレイスというものをつくりあげられたら、きっと皆さんにもハッピーなものを提供できるでしょうし、大学人としてもきつとハッピーになるんじゃないかなというふうに考えております。そのような試みをしている大手前大学に今後とも期待してください。

かなり凝縮した講義になってしまいましたが韓国とビデオチャットやGoogle

1e マップなど面白いと感じていただけたようですのでこれを機にちょっとインターネットにチャレンジしてみようかと思っていただけでしたら私としては成功かなと思っております。もう時間が来たようなので本日はこのあたりで終わりたいと思います。

最後にもう一枚スライドがあるんです。

御清聴ありがとうございます。ぜひ、このセヘボン マニバトウセヨを覚えて帰っていただければと思います。

どうもありがとうございました。